

わが輩は亀である、いやも
っと亀になる。

誰でも知っているウサギと
亀の童話では、足の速いウサ
ギと遅い亀が勝負し、油断し
たウサギが亀に負ける。才能
と努力の象徴ともとれる話だ
が、私は努力し続けられるこ
とこそが才能だと強く感じる。

11日、全仏オープンで3年
ぶり10回目の優勝を果たした
31歳のラファエル・ナダル選
手、そして今年1月、全豪オ
ープンで優勝し、グランドス
ラム男子シングルス最多優勝
記録を更新した35歳のロジャ
ー・フェデラー選手。

共に世界を熱狂させる大ス
ターだからこそ、けがや故
障、年齢などが取り沙汰さ
れ、不調のたび、容赦なく中
傷されてきた。しかし、2人
は困難を克服。奇跡の大復活
を遂げ「生ける伝説」となっ
た。全盛期の強さを彷彿させ

努力の継続こそ力、私は亀になる



るところか、より進化した圧
倒的すごさを見せつけた。

一体どれほどの練習を積み
上げたのだろう。ナダルが勝
てない時、「確かに今は満足
できる結果ではないが、僕の
人生は続いている」と言った
言葉が忘れられない。

今のテニス界は、かつてな
いほど素晴らしい時代を謳歌
し、輝いている。その中に日
本人、錦織圭選手(27)がいる。
何と誇らしいことだろう。

愚かにも時代はいまだ、結
果を早急に出すことや目先の
数字、そして効率化ばかりを
追い求めている。

その人の人生は最後の最後

までその人のものだ。今、子
供たちに伝えるべき大事なこ
とのひとつは、一步一步積み
上げる喜びと手応えだ。

人生は勝ち負けではない。
競争ではなく、自分の毎日を
大切に時間をかけて丁寧に生
きることなのだ。

私は亀になる。亀は勝算を
考え歩き始めたのではない。
また、どこまで歩いたか、こ
の先どのくらい歩くのか、な
どと考えもせず、最後まで黙
々とひたすら歩いた。私はも
っと亀になる。

(さとう・しのぶ＝声楽家)

＝毎月第3金曜日掲載

音
楽